

豊川市立小中学校の規模に関する基本方針

【第2案／概要版】

この概要版は、平成30年9月20日に開催した第4回豊川市の未来を拓く教育推進懇談会で提案した【第2案】を元に、総合教育会議向けに作成したものです。

内容については、懇談会における意見を踏まえた修正作業を行っているため、一部変更を予定しています。

平成 年 月

豊川市教育委員会

〒441-0292

愛知県豊川市赤坂町松本250番地

TEL : 0533-88-8032

FAX : 0533-88-8038

Email: kyoikushomu@city.toyokawa.lg.jp

1 基本方針策定の趣旨

- 少子化や人口減少が進行する中、本市では、豊川市教育大綱に基づき、「ともに学び 生きる力を育み 未来を拓く豊川の人づくり」を基本理念とする様々な教育施策を展開しており、子どもたちの成長を支える学校教育についても多くの取組を進めています。
- 中でも学校教育施設については、少子化の動向を捉えた管理が求められており、市公共施設全体の適正配置や長寿命化の方針を踏まえた老朽校舎の改修などに取り組んでいます。
- 引き続き、子どもたちの健やかな成長を支えていくためには、児童生徒が安全な環境の中で、安心して学校生活を送ることができるような小中学校の環境整備が必要です。また、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨しながら、思考力や表現力、判断力などを育んでいけるような学校規模を維持していく視点も重要です。
- 将来にわたって子どもたちの「生きる力」を育む教育環境を維持・向上させていくため、本市における小中学校の規模に着目した課題整理を行うとともに、その解決に向けた方策を明らかにする「豊川市立小中学校の規模に関する基本方針」を策定します。

2 学校規模や学級編制の標準

(1) 学校規模の標準

国は、小中学校の規模の標準について、「12学級以上18学級以下」と設定しています。

(2) 学級編制の標準

一つの学級を編制する際の児童生徒数の基準について、国及び県が「学級編制の標準」として示しています。

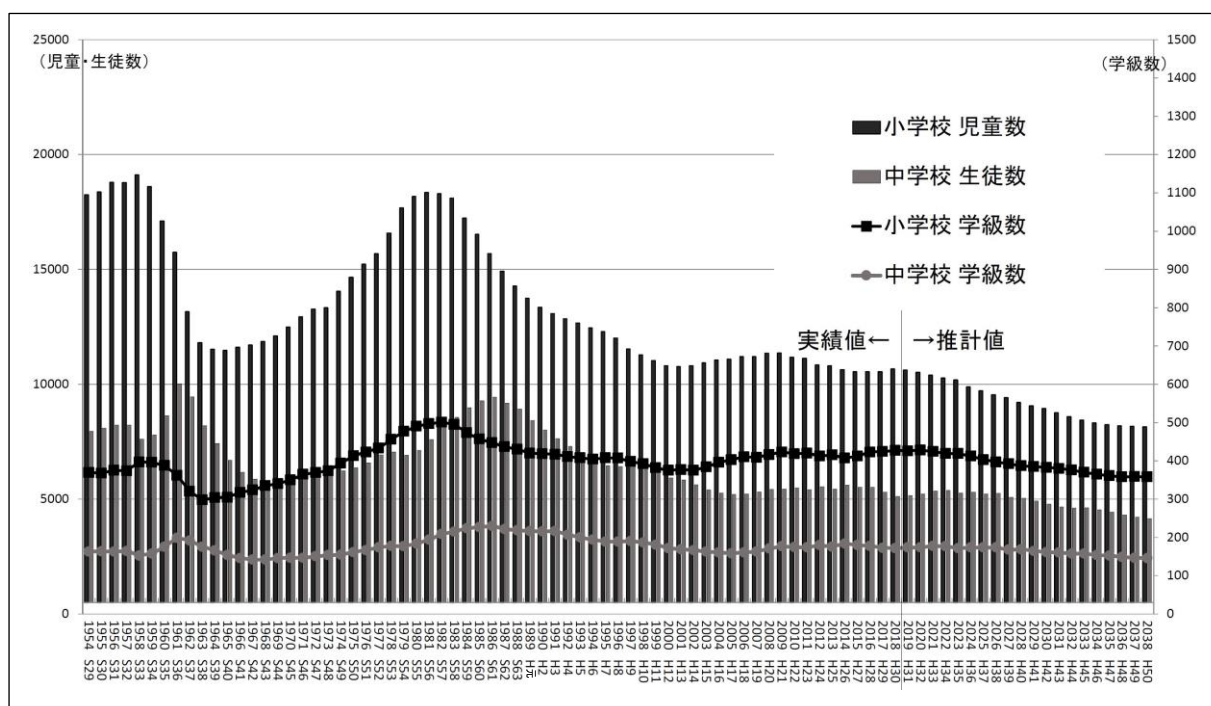
<学級編制の標準（基準）一覧>

		小学校	中学校
単式学級	国(法令)の基準	40人 1年生は35人	40人
	愛知県の基準	40人 1年生は35人	40人
	愛知県の加配	2年生は35人	1年生は35人
複式学級	国(法令)の基準	16人 1年生を含む場合は8人	8人
	愛知県の基準	14人 1年生を含む場合は7人	8人
特別支援学級	国(法令)の基準	8人	
	愛知県の基準	8人	

3 学校規模に関する現状と見通し

(1) 児童生徒数と学級数の全体的推移

- 戦後における本市の児童生徒数は、小学校では1958（昭和33）年度、中学校では1961（昭和36）年度に最初のピークを迎えました。これは、団塊世代が小中学校に在籍した時期に当たります。
- その後、児童生徒数は一旦減少しましたが、高度経済成長を背景としながら増加に転じ、団塊ジュニア世代が小中学校に在籍した時期には、小学校では1981（昭和56）年度、中学校では1986（昭和61）年度に、2度目のピークを迎えました。
- このピークを最後に、本市における児童生徒数は、少子化の進行に伴い減少傾向が続いています。
- 学級数については、戦後の児童生徒数と連動しながら増減してきましたが、近年では、児童生徒数が減少傾向にある中で、2011（平成23）年度以降は小学校1・2年生や中学校1年生において35人学級が編制されていること、また、特別支援学級の児童生徒数が増加傾向にあることから、横ばいの状況となっています。
- 今後は、児童生徒数が引き続き減少していく見込みですが、学級数については、児童生徒数の減少に比較し、緩やかな減少で推移していくものと予測されます。



※1 実績は、愛知県教育年報・学校基本調査より。推計値は、p.12～15の「小中学校別の児童生徒数と学級数の見通し」より。

※2 特別支援学級を含む。

(2) 小学校別の入学児童数の見通し

- 入学児童数の増減率については、学校によって差異が見られ、今後の20年間で50%以上減少する予測となっている小学校が8校あります。
- 愛知県では、引き続き複数学年の児童数が14人以下（1年生を含む場合は7人以下）で推移し続ける場合に複式学級となるため、それに該当する学校と時期を予測しながら、学校規模を見通していく必要があります。

生まれ年度	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)
入学年度	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)	2021 (H33)	2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)
算出根拠	2018.3.31現在住基本人口に基づき算出							推計値			
豊川小	53 0.0%	49 -7.5%	51 -3.8%	55 3.8%	67 26.4%	37 -30.2%	45 -15.1%	48 -9.4%	47 -11.3%	45 -15.1%	44 -17.0%
東部小	62 0.0%	83 33.9%	82 32.3%	72 16.1%	72 16.1%	61 -1.6%	65 4.8%	71 14.5%	70 12.9%	68 9.7%	66 6.5%
桜木小	57 0.0%	53 -7.0%	51 -10.5%	61 7.0%	46 -19.3%	53 -7.0%	46 -19.3%	49 -14.0%	46 -19.3%	45 -21.1%	44 -22.8%
豊小	70 0.0%	73 4.3%	74 5.7%	71 1.4%	73 4.3%	61 -12.9%	53 -24.3%	65 -7.1%	63 -10.0%	63 -10.0%	61 -12.9%
牛久保小	73 0.0%	67 -8.2%	65 -11.0%	69 -5.5%	67 -8.2%	76 4.1%	46 -37.0%	64 -12.3%	63 -13.7%	61 -16.4%	59 -19.2%
中部小	100 0.0%	119 19.0%	114 14.0%	108 8.0%	140 40.0%	103 3.0%	100 0.0%	106 6.0%	103 3.0%	99 -1.0%	99 -1.0%
天王小	55 0.0%	45 -18.2%	39 -29.1%	41 -25.5%	36 -34.5%	38 -30.9%	28 -49.1%	32 -41.8%	32 -41.8%	32 -41.8%	30 -45.5%
千両小	27 0.0%	23 -14.8%	19 -29.6%	19 -29.6%	19 -29.6%	16 -40.7%	15 -44.4%	14 -48.1%	14 -48.1%	12 -55.6%	12 -55.6%
平尾小	54 0.0%	64 18.5%	49 -9.3%	48 -11.1%	53 -1.9%	38 -29.6%	43 -20.4%	44 -18.5%	44 -18.5%	45 -16.7%	44 -18.5%
八南小	100 0.0%	108 8.0%	110 10.0%	109 9.0%	143 43.0%	125 25.0%	114 14.0%	117 17.0%	119 19.0%	119 19.0%	117 17.0%
国府小	150 0.0%	109 -27.3%	143 -4.7%	147 -2.0%	136 -9.3%	121 -19.3%	129 -14.0%	129 -14.0%	128 -14.7%	126 -16.0%	127 -15.3%
御油小	77 0.0%	89 15.6%	87 13.0%	71 -7.8%	68 -11.7%	91 18.2%	70 -9.1%	75 -2.6%	72 -6.5%	70 -9.1%	67 -13.0%
桜町小	43 0.0%	48 11.6%	60 39.5%	58 34.9%	71 65.1%	69 60.5%	62 44.2%	67 55.8%	66 53.5%	68 58.1%	67 55.8%
代田小	98 0.0%	101 3.1%	92 -6.1%	87 -11.2%	83 -15.3%	81 -17.3%	79 -19.4%	81 -17.3%	80 -18.4%	80 -18.4%	78 -20.4%
三蔵子小	116 0.0%	104 -10.3%	110 -5.2%	87 -25.0%	117 0.9%	119 2.6%	121 4.3%	124 6.9%	124 6.9%	122 5.2%	118 1.7%
金屋小	63 0.0%	58 -7.9%	61 -3.2%	57 -9.5%	45 -28.6%	65 3.2%	43 -31.7%	52 -17.5%	49 -22.2%	49 -22.2%	48 -23.8%
一宮東部小	50 0.0%	43 -14.0%	34 -32.0%	26 -48.0%	26 -48.0%	18 -64.0%	22 -56.0%	22 -56.0%	21 -58.0%	20 -60.0%	20 -60.0%
一宮西部小	94 0.0%	104 10.6%	87 -7.4%	103 9.6%	87 -7.4%	96 2.1%	94 0.0%	87 -7.4%	86 -8.5%	86 -8.5%	86 -8.5%
一宮南部小	26 0.0%	25 -3.8%	27 3.8%	34 30.8%	14 -46.2%	21 -19.2%	15 -42.3%	17 -34.6%	17 -34.6%	17 -34.6%	15 -42.3%
萩小	11 0.0%	6 -45.5%	10 -9.1%	12 9.1%	4 -63.6%	9 -18.2%	5 -54.5%	7 -36.4%	7 -36.4%	6 -45.5%	6 -45.5%
長沢小	25 0.0%	23 -8.0%	15 -40.0%	12 -52.0%	11 -56.0%	13 -48.0%	10 -60.0%	10 -60.0%	10 -60.0%	10 -60.0%	9 -64.0%
赤坂小	51 0.0%	46 -9.8%	38 -25.5%	31 -39.2%	37 -27.5%	30 -41.2%	29 -43.1%	29 -43.1%	29 -43.1%	29 -43.1%	27 -47.1%
御津北部小	28 0.0%	27 -3.6%	30 7.1%	23 -17.9%	36 28.6%	19 -32.1%	34 21.4%	24 -14.3%	24 -14.3%	24 -14.3%	23 -17.9%
御津南部小	89 0.0%	81 -9.0%	79 -11.2%	77 -13.5%	70 -21.3%	83 -6.7%	77 -13.5%	77 -13.5%	76 -14.6%	76 -14.6%	72 -19.1%
小坂井東小	108 0.0%	99 -8.3%	85 -21.3%	81 -25.0%	74 -31.5%	73 -32.4%	91 -15.7%	80 -25.9%	79 -26.9%	78 -27.8%	75 -30.6%
小坂井西小	129 0.0%	89 -31.0%	99 23.3%	86 -33.3%	94 -27.1%	75 -41.9%	77 -40.3%	76 -41.1%	72 -44.2%	71 -45.0%	68 -47.3%
合計	1,809 0.0%	1,736 -4.0%	1,711 -5.4%	1,645 -9.1%	1,689 -6.6%	1,591 -12.1%	1,513 -16.4%	1,567 -13.4%	1,541 -14.8%	1,521 -15.9%	1,482 -18.1%

※1 算出根拠：入学年度2018（平成30）年度は実績値。入学年度2019（平成31）年度から2024（平成36）年度までは、2018（平成30）年3月末現在の住民基本台帳の人口に基づき把握した0歳～6歳人口を捉え、2025（平成37）年度以降は、p.7の「小中学校区別人口の推移」と同じ手法により推計した0歳人口を捉え、それらの子

●引き続き 2 学年の児童数の合計が 14 人以下となり、それ以降も 14 人以下で推移し続けることが見込まれる小学校については、2038（平成 50）年度までの間に 2 校該当してくるものと予測されます。

●引き続き 2 学年の児童数の合計が最初に 14 人以下となる組み合わせのうち、下の学年が 4 年生になる年度に初めて複式編制が適用されることを踏まえ、今後における学校規模を見通します。

（単位：人）

2022 (H34)	2023 (H35)	2024 (H36)	2025 (H37)	2026 (H38)	2027 (H39)	2028 (H40)	2029 (H41)	2030 (H42)	2031 (H43)	生まれ年度
2029 (H41)	2030 (H42)	2031 (H43)	2032 (H44)	2033 (H45)	2034 (H46)	2035 (H47)	2036 (H48)	2037 (H49)	2038 (H50)	入学年度
推計値										算出根拠
42	39	38	38	37	37	36	35	35	34	豊川小
-20.8%	-26.4%	-28.3%	-28.3%	-30.2%	-30.2%	-32.1%	-34.0%	-34.0%	-35.8%	
64	62	61	60	60	59	59	59	59	58	東部小
3.2%	0.0%	-1.6%	-3.2%	-3.2%	-4.8%	-4.8%	-4.8%	-4.8%	-6.5%	
41	41	39	39	39	37	37	35	35	35	桜木小
-28.1%	-28.1%	-31.6%	-31.6%	-31.6%	-35.1%	-35.1%	-38.6%	-38.6%	-38.6%	
59	59	58	57	58	57	58	58	59	59	豊小
-15.7%	-15.7%	-17.1%	-18.6%	-17.1%	-18.6%	-17.1%	-17.1%	-15.7%	-15.7%	
57	56	53	53	52	52	53	51	51	50	牛久保小
-21.9%	-23.3%	-27.4%	-27.4%	-28.8%	-28.8%	-27.4%	-30.1%	-30.1%	-31.5%	
96	90	89	86	87	85	83	84	81	82	中部小
-4.0%	-10.0%	-11.0%	-14.0%	-13.0%	-15.0%	-17.0%	-16.0%	-19.0%	-18.0%	
28	28	28	27	27	27	27	27	27	27	天王小
-49.1%	-49.1%	-49.1%	-50.9%	-50.9%	-50.9%	-50.9%	-50.9%	-50.9%	-50.9%	
12	10	10	10	10	10	10	9	9	8	千両小
-55.6%	-63.0%	-63.0%	-63.0%	-63.0%	-63.0%	-63.0%	-66.7%	-66.7%	-70.4%	
43	43	42	43	43	43	43	43	43	43	平尾小
-20.4%	-20.4%	-22.2%	-20.4%	-20.4%	-20.4%	-20.4%	-20.4%	-20.4%	-20.4%	
114	116	115	115	117	118	119	121	123	123	八南小
14.0%	16.0%	15.0%	15.0%	17.0%	18.0%	19.0%	21.0%	23.0%	23.0%	
127	124	123	125	127	128	130	131	133	136	国府小
-15.3%	-17.3%	-18.0%	-16.7%	-15.3%	-14.7%	-13.3%	-12.7%	-11.3%	-9.3%	
63	62	60	60	58	59	59	59	58	57	御油小
-18.2%	-19.5%	-22.1%	-22.1%	-24.7%	-23.4%	-23.4%	-23.4%	-24.7%	-26.0%	
65	66	67	68	68	70	70	72	74	75	桜町小
51.2%	53.5%	55.8%	58.1%	58.1%	62.8%	62.8%	67.4%	72.1%	74.4%	
76	76	74	75	75	74	74	74	76	76	代田小
-22.4%	-22.4%	-24.5%	-23.5%	-23.5%	-24.5%	-24.5%	-24.5%	-22.4%	-22.4%	
114	111	108	106	105	103	103	102	100	100	三蔵子小
-1.7%	-4.3%	-6.9%	-8.6%	-9.5%	-11.2%	-11.2%	-12.1%	-13.8%	-13.8%	
45	45	42	43	41	41	40	39	38	37	金屋小
-28.6%	-28.6%	-33.3%	-31.7%	-34.9%	-34.9%	-36.5%	-38.1%	-39.7%	-41.3%	
18	17	15	15	14	15	14	14	14	13	一宮東部小
-64.0%	-66.0%	-70.0%	-70.0%	-72.0%	-70.0%	-72.0%	-72.0%	-72.0%	-74.0%	
85	83	82	83	83	85	86	85	87	86	一宮西部小
-9.6%	-11.7%	-12.8%	-11.7%	-11.7%	-9.6%	-8.5%	-9.6%	-7.4%	-8.5%	
14	14	14	14	14	14	13	12	13	13	一宮南部小
-46.2%	-46.2%	-46.2%	-46.2%	-46.2%	-46.2%	-50.0%	-53.8%	-50.0%	-50.0%	
6	6	5	5	5	5	4	4	4	4	萩小
-45.5%	-45.5%	-54.5%	-54.5%	-54.5%	-54.5%	-63.6%	-63.6%	-63.6%	-63.6%	
9	9	9	9	8	7	7	7	7	7	長沢小
-64.0%	-64.0%	-64.0%	-64.0%	-68.0%	-72.0%	-72.0%	-72.0%	-72.0%	-72.0%	
26	25	25	25	24	24	23	23	23	22	赤坂小
-49.0%	-51.0%	-51.0%	-51.0%	-52.9%	-52.9%	-54.9%	-54.9%	-54.9%	-56.9%	
22	22	22	20	20	20	20	20	21	22	御津北部小
-21.4%	-21.4%	-21.4%	-28.6%	-28.6%	-28.6%	-28.6%	-28.6%	-25.0%	-21.4%	
70	68	67	68	66	66	64	64	62	62	御津南部小
-21.3%	-23.6%	-24.7%	-23.6%	-25.8%	-25.8%	-28.1%	-28.1%	-30.3%	-30.3%	
73	72	70	70	69	69	69	69	69	69	小坂井東小
-32.4%	-33.3%	-35.2%	-35.2%	-36.1%	-36.1%	-36.1%	-36.1%	-36.1%	-36.1%	
65	62	61	60	58	58	57	57	55	53	小坂井西小
-49.6%	-51.9%	-52.7%	-53.5%	-55.0%	-55.0%	-55.8%	-55.8%	-57.4%	-58.9%	
1,434	1,406	1,377	1,374	1,365	1,363	1,358	1,354	1,356	1,351	合計
-20.7%	-22.3%	-23.9%	-24.0%	-24.5%	-24.7%	-24.9%	-25.2%	-25.0%	-25.3%	

どもたちが、そのままの人数で小学校へ入学すると仮定し算出。各年齢の子どもが入学するまでの期間における転入・転出を捉える社会増減の見込みは含まず。

※2 増減率：児童数の下段は、2018 年度との比較による増減率。

(3) 小中学校別の児童生徒数と学級数の見通し

①小学校

- 児童数については、2018（平成30）年度は10,675人ですが、2038（平成50）年度は8,147人となり、20年間に2,528人（23.7%）減少すると予測されます。
- 児童数に応じた通常学級の数については、小学校1・2年生は35人学級、その他の学年は40人学級を基準とすると、2018（平成30）年度は344学級であるのに対し、2038（平成50）年度は284学級とな

年度	2018 (H30)		2019 (H31)		2020 (H32)		2021 (H33)		2022 (H34)		2023 (H35)		2024 (H36)		2025 (H37)		2026 (H38)		2027 (H39)		2028 (H40)	
	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス
豊川小	7	3	8	3	6	3	7	3	6	3	5	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3
	339	12	340	12	330	12	327	12	333	12	307	12	298	12	297	11	293	11	283	11	260	11
東部小	20	4	21	4	23	4	24	4	22	4	20	4	20	4	19	4	18	4	18	4	18	4
	420	13	413	13	418	14	417	13	408	12	412	12	415	12	404	12	393	12	389	12	383	12
桜木小	7	2	8	2	7	2	7	2	6	2	5	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2
	382	12	382	12	360	12	349	12	333	12	316	12	304	12	300	12	295	12	279	12	277	12
豊小	19	4	22	4	21	4	21	4	20	4	19	4	17	4	17	4	17	4	17	4	17	4
	421	13	420	13	401	13	406	13	412	12	403	12	388	12	380	12	369	12	361	12	349	12
牛久保小	13	3	12	3	11	3	11	3	10	3	12	3	13	3	13	3	13	3	13	3	13	3
	373	13	372	13	373	12	390	12	390	12	405	13	377	13	374	12	372	12	364	12	356	12
中部小	21	5	21	5	22	5	20	5	23	5	22	5	22	5	21	5	20	5	20	5	18	5
	653	18	659	19	651	20	640	19	665	19	662	19	662	19	650	19	640	19	631	19	592	18
天王小	3	2	4	2	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	252	10	253	9	251	9	253	10	252	10	253	11	226	9	214	7	207	7	198	6	192	6
千両小	13	3	14	3	15	3	15	3	12	3	14	3	13	3	12	3	12	3	11	3	10	3
	117	6	115	6	118	6	115	6	113	6	109	6	98	6	90	6	85	6	79	6	73	6
平尾小	7	2	7	2	6	2	6	2	7	2	7	2	7	2	6	2	6	2	6	2	6	2
	290	11	309	11	302	11	303	11	317	12	299	12	288	12	269	11	264	11	261	11	252	11
八南小	17	4	15	4	14	4	15	4	18	4	19	4	19	4	19	4	19	4	19	4	18	4
	656	18	661	18	649	19	638	20	658	20	676	20	690	21	699	22	708	22	718	22	693	21
国府小	17	4	18	4	19	4	16	4	17	4	17	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4
	738	22	738	23	763	23	799	24	807	24	789	23	767	23	787	23	772	23	751	23	742	23
御油小	8	2	8	2	7	2	5	2	6	2	5	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2
	499	18	499	17	495	16	481	15	461	14	478	15	470	15	456	15	441	15	440	14	439	13
桜町小	14	3	15	3	15	3	15	3	12	3	15	3	17	3	18	3	18	3	18	3	18	3
	294	12	295	12	302	12	298	12	322	12	334	12	351	12	369	12	375	12	385	12	381	12
代田小	25	6	29	6	29	6	26	6	25	6	25	6	26	6	25	6	24	6	24	6	24	6
	501	15	522	16	534	17	532	17	532	18	517	18	497	17	478	16	467	15	460	14	455	14
三蔵子小	26	6	25	6	27	6	27	6	22	6	25	6	26	6	27	6	28	6	30	6	30	6
	657	19	640	19	628	19	598	19	615	19	628	20	632	20	651	20	664	20	697	20	698	20
金屋小	19	4	20	4	21	4	21	4	21	4	19	4	21	4	20	4	19	4	19	4	19	4
	310	12	309	12	318	12	326	12	318	12	330	12	308	12	303	12	292	11	284	11	287	11
一宮東部小	9	2	6	2	6	2	6	2	7	2	7	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2
	262	11	260	10	257	10	238	9	210	8	190	8	163	7	142	6	129	6	123	6	117	6
一宮西部小	15	4	15	4	13	4	14	4	13	4	13	4	14	4	13	4	13	4	12	4	12	4
	577	18	565	18	566	18	569	18	551	18	558	18	557	18	541	18	540	18	524	18	523	18
一宮南部小	5	2	6	2	6	2	6	2	5	2	5	2	5	2	5	2	5	2	5	2	6	2
	148	6	142	6	145	6	160	6	140	6	142	6	131	6	123	6	113	6	96	6	96	6
萩小	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	82	6	70	6	68	6	64	6	55	6	52	6	46	6	47	6	44	5	38	5	40	4
長沢小	9	2	10	2	9	2	7	2	8	2	7	2	6	2	6	2	6	2	6	2	5	2
	168	6	153	6	140	6	126	6	106	6	92	6	78	6	65	6	60	6	58	6	57	6
赤坂小	4	2	5	2	6	2	5	2	5	2	2	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0
	303	12	290	12	280	12	266	11	245	10	231	9	209	7	193	6	185	6	183	6	173	6
御津北部小	5	2	5	2	5	2	5	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2
	171	6	165	6	163	6	156	6	167	6	157	6	163	6	160	6	154	6	155	6	142	6
御津南部小	11	4	12	4	9	4	10	4	8	4	9	4	11	4	11	4	11	4	11	4	11	4
	543	18	527	17	511	17	502	16	462	14	470	14	456	14	452	15	449	15	448	15	450	15
小坂井東小	19	4	23	4	22	4	21	4	21	4	22	4	19	4	18	4	18	4	18	4	18	4
	535	17	553	18	544	18	536	18	516	18	498	16	484	15	466	15	460	15	457	15	458	15
小坂井西小	24	4	26	4	29	4	26	4	26	4	22	4	19	4	19	4	18	4	18	4	18	4
	647	20	608	19	607	19	576	19	562	19	550	19	501	18	488	17	462	15	447	13	421	12
合計	337	83	355	83	352	83	337	82	327	82	323	82	326	82	318	80	313	79	313	79	309	79
	10,338	344	10,260	343	10,174	345	10,065	342	9,950	337	9,858	337	9,559	330	9,398	323	9,233	318	9,109	313	8,906	308
	10,675	427	10,615	426	10,526	428	10,402	424	10,277	419	10,181	419	9,885	412	9,716	403	9,546	397	9,422	392	9,215	387

※1 通常学級の児童数：2018（平成30）年度から2024（平成36）年度までは、2018年（平成30年5月1日現在の各小学校の児童数（実績値）を元に算出。2025（平成37）年度以降は、p.10～11の「小学校別の入学児童数の見通し」を元に算出。

り、20年間に60学級（17.4%）減少するものと予測されます。

- 複式学級を編制する規模の5学級以下の小学校は、2018（平成30）年度現在ではありませんが、2026（平成38）年度に1校、2038（平成50）年度には2校となる予測となっています。

- 全学年でクラス替えができない規模の6学級の小学校は、2018（平成30）年度は5校ですが、2038（平成50）年度には8校となる予測となっています。

（単位：児童数は人、学級数はクラス（学級） 上段：特別支援学級、下段：通常学級）

2029 (H41)		2030 (H42)		2031 (H43)		2032 (H44)		2033 (H45)		2034 (H46)		2035 (H47)		2036 (H48)		2037 (H49)		2038 (H50)		年度
児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	児童数	クラス	
6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	豊川小
265	12	259	12	249	12	240	11	232	10	225	9	219	7	215	6	212	6	208	6	
18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	
386	12	383	12	373	12	363	12	355	12	348	12	343	12	340	12	338	12	336	12	東部小
6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	
265	12	260	12	250	11	243	10	237	9	230	8	226	8	220	7	216	6	212	6	
17	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	桜木小
347	12	352	12	345	12	339	12	334	12	330	12	329	12	328	12	329	12	331	12	
12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	
338	12	348	12	337	12	327	12	318	12	311	12	307	12	302	12	300	12	297	12	牛久保小
18	5	18	5	18	5	18	5	18	5	18	5	18	5	18	5	18	5	18	5	
585	18	575	18	558	18	541	18	529	18	515	18	502	18	496	18	488	17	484	17	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	天王小
182	6	182	6	178	6	173	6	168	6	165	6	164	6	163	6	162	6	162	6	
9	3	8	3	7	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	6	3	
70	6	66	6	63	6	60	6	58	6	56	6	54	6	53	6	52	6	50	6	千岡小
6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	
257	12	257	12	255	12	254	12	252	12	251	12	251	12	251	12	252	12	252	12	
18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	八南小
682	20	684	20	682	20	678	20	676	20	677	20	682	20	687	20	695	20	703	20	
18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	
748	24	743	24	737	24	734	24	735	23	736	23	739	23	746	23	756	24	767	24	国府小
6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	
411	12	403	12	388	12	376	12	364	12	356	12	352	12	349	12	347	12	344	12	
18	3	18	3	18	3	18	3	18	3	18	3	18	3	18	3	19	3	20	3	桜町小
377	12	381	12	381	12	383	12	383	12	386	12	391	12	397	12	403	12	409	13	
24	6	24	6	24	6	24	6	24	6	24	6	24	6	24	6	24	6	24	6	
450	14	447	14	440	13	435	13	430	14	426	13	424	12	422	12	424	13	425	14	代田小
30	6	29	6	28	6	27	6	26	6	25	6	24	6	24	6	24	6	24	6	
693	20	684	20	669	19	652	18	636	18	622	18	612	18	603	18	595	18	589	18	
18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	18	4	17	4	16	4	15	4	14	4	三蔵子小
268	11	270	12	260	12	254	12	246	11	239	10	235	9	230	8	227	8	222	7	
6	2	6	2	6	2	6	2	5	2	5	2	4	2	3	2	2	2	1	1	
117	6	112	6	105	6	99	6	94	6	89	6	86	6	84	6	84	6	83	6	一宮東部小
12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	
512	18	501	18	496	18	493	18	490	17	489	17	490	17	492	17	497	18	500	18	
5	2	4	2	3	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一宮西部小
90	6	90	6	88	6	86	6	84	6	84	6	83	6	81	6	80	6	79	6	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
37	4	38	4	36	4	34	4	33	4	32	4	30	4	28	4	27	4	26	4	萩小
4	2	3	2	2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
54	6	54	6	54	6	54	6	53	6	51	6	49	6	47	6	45	6	43	5	
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	長沢小
169	6	165	6	161	6	157	6	152	6	149	6	146	6	144	6	142	6	139	6	
6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	6	2	
145	6	133	6	131	6	127	6	123	6	120	6	118	6	116	6	115	6	117	6	御津北部小
10	4	9	4	8	4	7	4	6	4	6	4	6	4	6	4	6	4	6	4	
438	13	430	12	421	12	414	12	405	12	399	12	393	12	389	12	384	12	378	12	
18	4	18	4	17	4	16	4	15	4	14	4	13	4	12	4	12	4	12	4	小坂井東小
458	14	439	12	430	12	422	12	414	12	409	12	406	12	404	12	403	12	402	12	
17	4	16	4	15	4	14	4	13	4	12	4	12	4	12	4	12	4	12	4	
412	12	398	12	384	12	373	12	361	12	352	12	344	12	339	12	333	12	326	12	小坂井西小
302	79	297	79	290	79	283	78	276	76	272	75	268	75	265	75	264	75	263	74	
8,756	306	8,654	304	8,471	301	8,311	298	8,162	294	8,047	290	7,975	286	7,926	283	7,906	284	7,884	284	
9,058	385	8,951	383	8,761	380	8,594	376	8,438	370	8,319	365	8,243	361	8,191	358	8,170	359	8,147	358	合計

※2 特別支援学級の児童数：2018（平成30）年度は実績値。2019（平成31）年度以降の入学児童分については、2018（平成30）年度の各校の在籍児童数を6学年で平均して当該校の1学年あたり児童数を算出し、適用。

②中学校

●生徒数については、2018（平成30）年度が5,127人であるのに対し、20年後の2038（平成50）年度は4,157人となり、970人（18.9%）減少すると予測されます。

●生徒数に応じた通常学級の数については、中学校1年生は35人学級を基準とし、その他の学年は40人学級を基準とすると、2018（平成30）年度が147学級であるのに対し、2038（平成50）年度は122学級となり、20年間に25学級（17.0%）減少するものと予測されます。

年度	2018 (H30)		2019 (H31)		2020 (H32)		2021 (H33)		2022 (H34)		2023 (H35)		2024 (H36)		2025 (H37)		2026 (H38)		2027 (H39)		2028 (H40)	
	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス
東部中	17	3	16	3	21	3	20	3	30	3	32	3	33	3	29	3	25	3	26	3	25	3
	797	23	761	22	809	23	812	23	819	23	776	22	750	21	736	21	733	21	749	22	750	22
南部中	20	4	20	4	19	4	23	4	21	4	20	4	14	4	16	4	17	4	18	4	18	4
	664	19	644	19	659	19	644	18	638	19	615	18	634	18	646	18	660	19	649	19	661	19
中部中	6	2	13	2	18	2	21	2	18	2	14	2	16	2	18	2	21	2	20	2	19	2
	512	15	497	15	514	16	536	16	547	16	536	16	527	15	538	16	533	15	529	15	550	16
西部中	9	3	8	3	10	3	16	3	15	3	16	3	9	3	11	3	10	3	12	3	12	3
	542	15	540	15	558	15	591	17	609	18	613	17	646	19	628	18	645	18	634	18	640	18
代田中	16	3	12	3	18	3	20	3	29	3	25	3	19	3	15	3	19	3	22	3	22	3
	364	12	363	11	360	10	389	12	392	12	413	13	406	12	425	13	423	13	424	12	429	13
金屋中	10	2	16	2	18	2	19	2	24	2	27	2	26	2	21	2	21	2	22	2	22	2
	456	14	479	14	482	14	498	15	471	14	455	13	469	13	478	14	491	14	455	13	455	14
一宮中	8	2	13	2	13	2	17	2	14	2	12	2	12	2	13	2	13	2	14	2	12	2
	465	13	495	15	465	14	489	14	492	14	491	14	498	14	475	14	477	15	469	14	426	12
音羽中	1	1	0	1	2	1	6	1	6	1	9	1	7	1	9	1	6	1	5	1	4	1
	307	9	309	10	287	9	285	9	273	9	269	9	268	9	240	9	219	7	188	6	166	6
御津中	9	2	8	2	11	2	10	2	11	2	7	2	6	2	6	2	7	2	9	2	8	2
	371	11	381	12	382	12	364	12	370	11	347	10	350	11	322	9	327	10	308	9	307	9
小坂井中	15	3	14	3	11	3	16	3	21	3	25	3	27	3	28	3	26	3	20	3	19	3
	538	16	566	16	574	17	589	17	583	16	568	15	593	17	578	17	583	17	519	15	500	15
合計	111	25	120	25	141	25	168	25	189	25	187	25	169	25	166	25	165	25	168	25	161	25
	5,016	147	5,035	149	5,090	149	5,197	153	5,194	152	5,083	147	5,141	149	5,066	149	5,091	149	4,924	143	4,884	144
	5,127	172	5,155	174	5,231	174	5,365	178	5,383	177	5,270	172	5,310	174	5,232	174	5,256	174	5,092	168	5,045	169

※1 通常学級の生徒数：2018（平成30）年度は実績値。2019（平成31）年度以降は、p.10～11の「小学校別の入学児童数の見通し」を元に算出。

※2 特別支援学級の生徒数：2018（平成30）年度は実績値。2019（平成31）年度以降は、p.12～13で整理する小学校の児童数と学級数の見込みにおける生徒者数を採用。

- 2038（平成50）年度までの20年間に、全学年でクラス替えができない規模に該当する中学校はありませんが、1校について、2037（平成49）年度に5学級、2038（平成50）年度に4学級となり、一部の学年でクラス替えができない規模になると予測されます。

（単位：生徒数は人、学級数はクラス（学級） 上段：特別支援学級、下段：通常学級）

2029 (H41)		2030 (H42)		2031 (H43)		2032 (H44)		2033 (H45)		2034 (H46)		2035 (H47)		2036 (H48)		2037 (H49)		2038 (H50)		年度
生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	生徒数	クラス	
24	3	23	3	23	3	23	3	24	3	24	3	24	3	24	3	24	3	24	3	東部中
705	20	656	19	631	19	645	19	656	19	638	18	618	18	598	17	579	16	567	16	
18	4	18	4	16	4	15	4	15	4	15	4	15	4	15	4	15	4	15	4	南部中
660	19	616	17	577	17	559	16	577	16	563	16	546	16	528	15	510	15	495	15	
19	2	19	2	18	2	18	2	17	2	16	2	15	2	15	2	15	2	15	2	中部中
551	16	547	16	508	15	506	15	511	15	510	15	503	15	496	15	490	15	489	15	
12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	12	3	西部中
622	17	603	17	603	17	591	16	588	16	578	16	568	16	558	16	547	16	542	16	
21	3	21	3	21	3	21	3	21	3	21	3	21	3	21	3	21	3	21	3	代田中
428	13	424	12	418	13	414	12	421	13	418	12	413	12	407	12	403	12	405	12	
23	2	25	2	25	2	24	2	24	2	24	2	24	2	23	2	22	2	21	2	金屋中
467	13	485	14	499	14	489	14	496	15	486	15	472	14	458	13	443	13	434	13	
12	2	11	2	12	2	12	2	12	2	12	2	11	2	10	2	9	2	9	2	一宮中
413	12	382	12	380	12	369	12	361	11	356	10	350	10	342	10	333	10	328	10	
3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	音羽中
156	6	145	6	139	6	133	6	134	6	131	6	127	6	123	6	120	5	118	4	
8	2	8	2	9	2	9	2	9	2	8	2	7	2	6	2	6	2	6	2	御津中
300	9	311	10	305	9	303	9	292	9	287	9	280	9	271	9	265	9	261	9	
18	3	18	3	18	3	18	3	18	3	18	3	17	3	16	3	14	3	13	3	小坂井中
465	15	466	14	454	14	457	14	438	13	425	12	413	12	399	12	389	12	382	12	
158	25	158	25	157	25	155	25	155	25	152	25	147	25	142	24	138	24	136	24	合計
4,767	140	4,635	137	4,514	136	4,466	133	4,474	133	4,392	129	4,290	128	4,180	125	4,079	123	4,021	122	
4,925	165	4,793	162	4,671	161	4,621	158	4,629	158	4,544	154	4,437	153	4,322	149	4,217	147	4,157	146	

(4) 学校規模と通学距離・時間の状況

本市における小中学校の規模と、各校における最長の通学距離について整理すると、次のような現状を捉えることができます。

①小学校

小学校については、御津北部小学校を除き、国が示す通学距離の基準（概ね4km以内）を満たしています。

②中学校

中学校については、全ての学校で概ね6km以内となっており、国が示す通学距離の基準（概ね6km以内）を満たしています。

<①小学校>

通学距離 学校規模		概ね 2km以内	概ね 3km以内	概ね 4km以内	概ね 5km以内	合計
6 学級	小規模	長沢(6c)	一宮南部(6c) 萩(6c)	千両(6c)	御津北部(6c)	
7～11 学級		天王(10c)	平尾(11c)	一宮東部(11c)		
12～18 学級	標準規模	豊川(12c) 桜木(12c) 豊(13c) 牛久保(13c) 中部(18c) 八南(18c) 御油(18c) 桜町(12c) 代田(15c) 金屋(12c) 小坂井東(17c)	東部(13c) 赤坂(12c)	御津南部(18c) 一宮西部(18c)		
19～30 学級	大規模	三蔵子(19c) 小坂井西(20c)	国府(22c)			
合計		15校	6校	4校	1校	26校
比率		57.7%	23.1%	15.4%	3.8%	100.0%

<②中学校>

通学距離 学校規模		概ね 3km以内	概ね 4km以内	概ね 5km以内	概ね 6km以内	合計
4～11 学級	小規模				音羽(9c) 御津(11c)	
12～18 学級	標準規模	西部(15c) 代田(12c) 小坂井(16c)	金屋(14c)	一宮(13c)	中部(15c)	
19～30 学級	大規模		南部(19c)	東部(23c)		
合計		3校	2校	2校	3校	10校
比率		30.0%	20.0%	20.2%	30.0%	100.0%

※1 学校規模は、2018（平成30）年度当初の学級数により分類。

※2 学校名右の（ ）内は学級数。

4 豊川市としての基本的な考え方

本市における学校規模に関する課題解決にあたっては、三つの事項に関する基本的な考え方を前提とし、具体的な検討や取組を進めていきます。

(1) 市立小中学校規模の標準

- 本市においては、「①教育活動に配慮する観点」「②児童生徒数の推移」「③学校規模の推移」「④通学距離の状況」の4点を踏まえ、小中学校の標準規模については、国と同様、小中学校ともに「12～18学級」とします。
- 小規模校のうち、クラス替えができない学級数（小学校は6学級、中学校は3学級）以外の規模の学校（小学校は7～11学級、中学校は4～11学級）については、実際に望まれる対応方法に差異が生じることが見込まれるため、準小規模として分類します。

<市立小中学校規模の区分>

①小学校

区分	学級数	特性
過小規模	1～5学級	複式学級が存在する規模
小規模	6学級	クラス替えができない規模
準小規模	7～8学級	全学年ではクラス替えができない規模
	9～11学級	半分以上の学年でクラス替えができる規模
標準規模	12～18学級	全学年で2クラス以上の学級編制ができ、クラス替えができる規模
大規模	19～30学級	校舎面積、運動場面積等が充足されている場合は、標準規模と遜色のない教育活動を展開できる規模
過大規模	31学級～	児童一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる可能性がある規模

②中学校

区分	学級数	特性
過小規模	1～2学級	複式学級が存在する規模
小規模	3学級	クラス替えができない規模
準小規模	4～5学級	全学年ではクラス替えができる学年が少ない規模
	6～8学級	全学年でクラス替えができ、同学年に複数教員を配置できる規模
	9～11学級	全学年でクラス替えができ、同学年で複数教員配置や、免許外指導の解消が可能な規模
標準規模	12～18学級	専任の教科担任（正規教職員）を配置しやすい規模
大規模	19～30学級	校舎面積、運動場面積等が充足されている場合は、標準規模と遜色のない教育活動を展開できる規模
過大規模	31学級～	生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる可能性がある規模

<市の区分による整理>

市として設定する市立小中学校規模の区分により、各小中学校の現状と見通しに基づいて分類すると、次のとおり整理することができます。

①小学校

学級数 (特別支援学級を除く)	市区分	2018(平成30)年度	2028(平成40)年度	2038(平成50)年度
1～5 学級	過小規模 (複式学級あり)		1校 萩(4C 6人、7人)	2校 萩(4C 4人、5人) 長沢(5C 7人、7人)
6 学級	小規模	5校 千両(6C 21人、19人) 一宮南部(6C 22人、26人) 萩(6C 12人、15人) 長沢(6C 25人、30人) 御津北部(6C 28人、29人)	7校 天王(6C 31人、33人) 千両(6C 11人、13人) 一宮東部(6C 19人、20人) 一宮南部(6C 15人、17人) 長沢(6C 9人、10人) 赤坂(6C 28人、29人) 御津北部(6C 23人、24人)	8校 豊川(6C 34人、35人) 榎木(6C 34人、36人) 天王(6C 27人、27人) 千両(6C 8人、9人) 一宮東部(6C 14人、14人) 一宮南部(6C 13人、13人) 赤坂(6C 23人、24人) 御津北部(6C 21人、19人)
7～8 学級	準小規模			1校 金屋(7C 24人、38人)
9～11 学級		3校 天王(10C 23人、27人) 平尾(11C 27人、26人) 一宮東部(11C 21人、25人)	3校 豊川(11C 22人、25人) 平尾(11C 22人、24人) 金屋(11C 23人、28人)	
12～18 学級	標準規模	15校 豊川(12C 29人、28人) 東部(13C 28人、34人) 榎木(12C 32人、32人) 豊(13C 33人、32人) 牛久保(13C 26人、30人) 中部(18C 33人、38人) 八南(18C 34人、38人) 御油(18C 25人、29人) 榎町(12C 24人、25人) 代田(15C 31人、35人) 金屋(12C 28人、25人) 一宮西部(18C 30、33人) 赤坂(12C 24人、26人) 御津南部(18C 27人、32人) 小坂井東(17C 32人、31人)	12校 東部(12C 32人、32人) 榎木(12C 22人、24人) 豊(12C 30人、29人) 牛久保(12C 29人、30人) 中部(18C 32人、33人) 御油(13C 34人、34人) 榎町(12C 32人、32人) 代田(14C 25人、38人) 一宮西部(18C 28人、30人) 御津南部(15C 24人、34人) 小坂井東(15C 25人、35人) 小坂井西(12C 33人、36人)	13校 東部(12C 28人、28人) 豊(12C 28人、27人) 牛久保(12C 24人、25人) 中部(17C 26人、30人) 平尾(12C 21人、21人) 御油(12C 28人、29人) 榎町(13C 28人、34人) 代田(14C 24人、35人) 三蔵子(18C 32人、33人) 一宮西部(18C 28人、28人) 御津南部(12C 31人、32人) 小坂井東(12C 34人、34人) 小坂井西(12C 26人、28人)
19～30 学級	大規模	3校 国府(22C 32人、35人) 三蔵子(19C 30人、37人) 小坂井西(20C 30人、34人)	3校 八南(21C 29人、36人) 国府(23C 31人、33人) 三蔵子(20C 29人、39人)	2校 八南(20C 30人、39人) 国府(24C 33人、32人)
31 学級以上	過大規模			

②中学校

学級数 (特別支援学級を除く)	市区分	2018(平成30)年度	2028(平成40)年度	2038(平成50)年度
1～2 学級	過小規模 (複式学級あり)			
3 学級	小規模			
4～5 学級	準小規模			1校 音羽(4C 20人、40人)
6～8 学級			1校 音羽(6C 26人、29人)	
9～11 学級		2校 音羽(9C 29人、37人) 御津(11C 33人、34人)	1校 御津(9C 35人、34人)	2校 一宮(10C 27人、37人) 御津(9C 29人、29人)
12～18 学級	標準規模	6校 中部(15C 32人、35人) 西部(15C 32人、38人) 代田(12C 29人、31人) 金屋(14C 29人、35人) 一宮(13C 34人、37人) 小坂井(16C 31人、35人)	6校 中部(16C 35人、34人) 西部(18C 33人、37人) 代田(13C 29人、35人) 金屋(14C 31人、33人) 一宮(12C 31人、38人) 小坂井(15C 32人、34人)	7校 東部(16C 31人、38人) 南部(15C 32人、33人) 代田(15C 33人、33人) 西部(16C 30人、36人) 代田(12C 34人、34人) 金屋(13C 28人、37人) 小坂井(12C 32人、32人)
19～30 学級	大規模	2校 東部(23C 32人、36人) 南部(19C 31人、37人)	2校 東部(22C 31人、36人) 南部(19C 34人、35人)	
31 学級以上	過大規模			

※1 学校名右の()内は、通常学級の学級数と、1学級当たり(平均)の児童生徒数。
 例) 小学校 (20C 30人、34人) = (通常学級数 1・2年1学級当たり(平均)児童数、3～6年1学級当たり(平均)児童数)
 中学校 (19C 31人、37人) = (通常学級数 1年1学級当たり(平均)生徒数、2・3年1学級当たり(平均)生徒数)
 ↓ ↓
 35人学級 40人学級

(2) 課題検討を行う学校規模

- 学校規模に関する課題については、小規模校のみならず、児童生徒の急激な増加等により発生する過大規模校の課題も全国的には見られます。しかし、引き続き少子化の進行が予測される中、本市においては、今後も過大規模となる小中学校は発生しないものと見込んでいます。
- こうした状況を踏まえ、市として設定する学校規模の標準に満たない小規模校や準小規模校に関する課題に着目し、今後において想定しうる対応方法を整理し、課題解決に向けた対応方針や手順などを明らかにします。
- なお、小規模校や準小規模校に関する課題解決に向けた対応については、次の方向性に基づき進めていきます。

①小規模校と準小規模校におけるメリットの最大化等について

一般的に、規模の小さい学校については、一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かな指導を行いやすく、また、意見や感想を発表できる機会が多くなるなどのメリットがあると言われてしています。

一方で、クラス替えが全部又は一部の学年でできない場合には、クラス同士が切磋琢磨する教育活動の機会が少なかったり、経験年数、専門性、男女比等バランスのとれた教職員配置やそれらを生かした指導の充実が困難となったりするなど、デメリットもあると捉えられています。

小規模校と準小規模校については、学校規模によるメリットを最大化できるよう、一層きめ細かな指導や児童生徒が活躍できる機会を充実させた教育活動などを支援していきます。また、学校規模によるデメリットを緩和できるよう、児童生徒が多様な考えに触れたり、切磋琢磨したりする機会を充実させた教育活動などを支援していきます。

②複式学級の編制について

本市においては、将来的に、一部の小学校で複式学級の編制が必要となる状況が見込まれます。

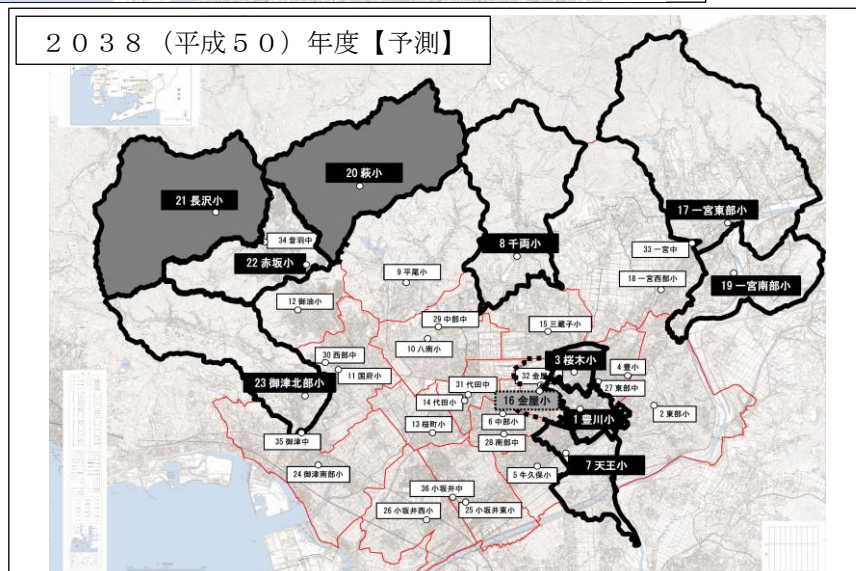
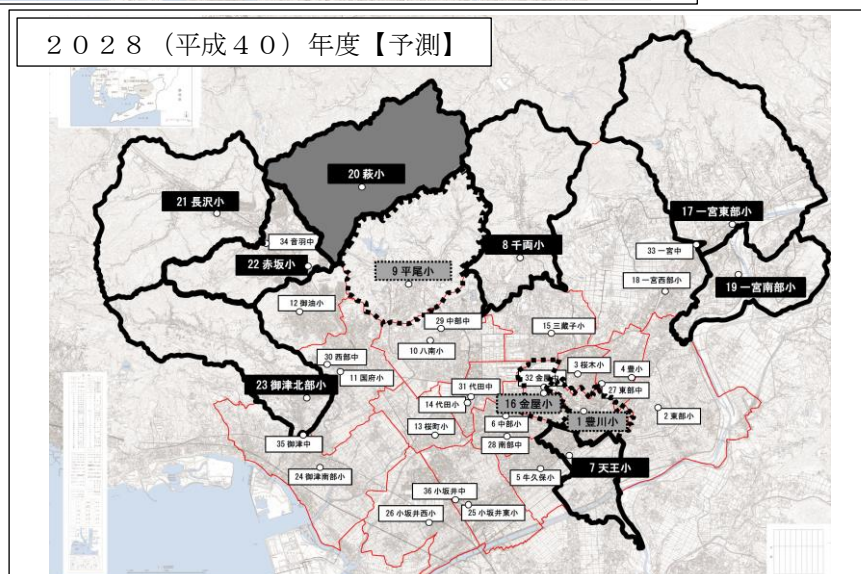
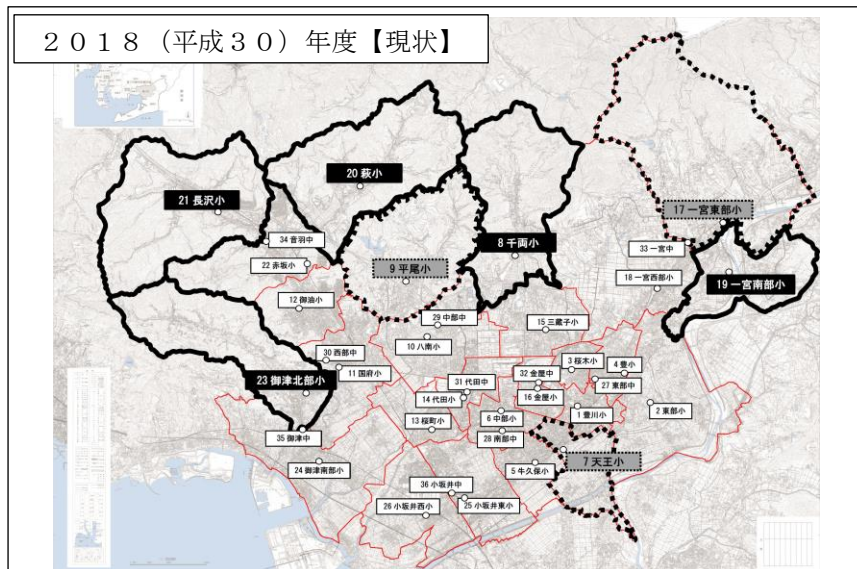
小学校で複式学級を編制する場合には、教職員が複数学年を行き来しながら直接指導と間接指導を組み合わせて授業を行うことが多く、児童の集中力が途切れやすくなったり、単式学級の場合と比較して直接指導の時間が少なくなったりすることが想定されます。また、単式学級と異なる指導順になる場合、単式学級の学校への転校時に未習事項が生じることと考えられます。こうした児童への影響に加え、教職員への影響としては、特別な指導技術が求められるとともに、複数学年分の教材研究・指導準備に伴う負担増加といった課題も想定されます。

一方で、教職員が複数学年を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させたり、異年齢の学習活動を組んだりしやすいといったメリットもありますが、公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律が制定されて以来、数回にわたる法改正により、複式学級の解消が進められてきました。

こうした状況を踏まえ、市としては、市内の児童生徒を対象とする学校教育の機会均等やその水準の維持・向上の観点から、複式学級の編制を回避するという方向性の中で、小規模校や準小規模校に関する課題解決に向けた取組を進めていきます。

<小規模化の推移に関する位置図（小学校）>

- = 過小規模校（1～5学級）
 = 小規模校（6学級）
 = 準小規模校（7～11学級）



(3) 市の全体計画を踏まえた対応

- 本市の公共施設は、その多くが昭和40年代中頃から昭和60年代前半までの期間に建築されており、公共施設全体の延床面積については、学校教育施設が4割以上を占めています。
- 学校教育施設の延床面積は、2017（平成29）年度末現在で231,092㎡となっており、そのうち78.2%は建築後30年を経過していることから、その老朽化への対応が必要となっています。
- こうした現状を踏まえ、市では、公共施設等の更新・統廃合・長寿命化を総合的かつ計画的に行うための全体計画（豊川市公共施設等総合管理計画）を定めており、学校教育施設に関する方針についても明らかにしています。

〔統合や廃止の推進方針〕（抜粋）

【小学校】

複式学級の発生が予想される時点で学校の統合・転用を検討するものとする。

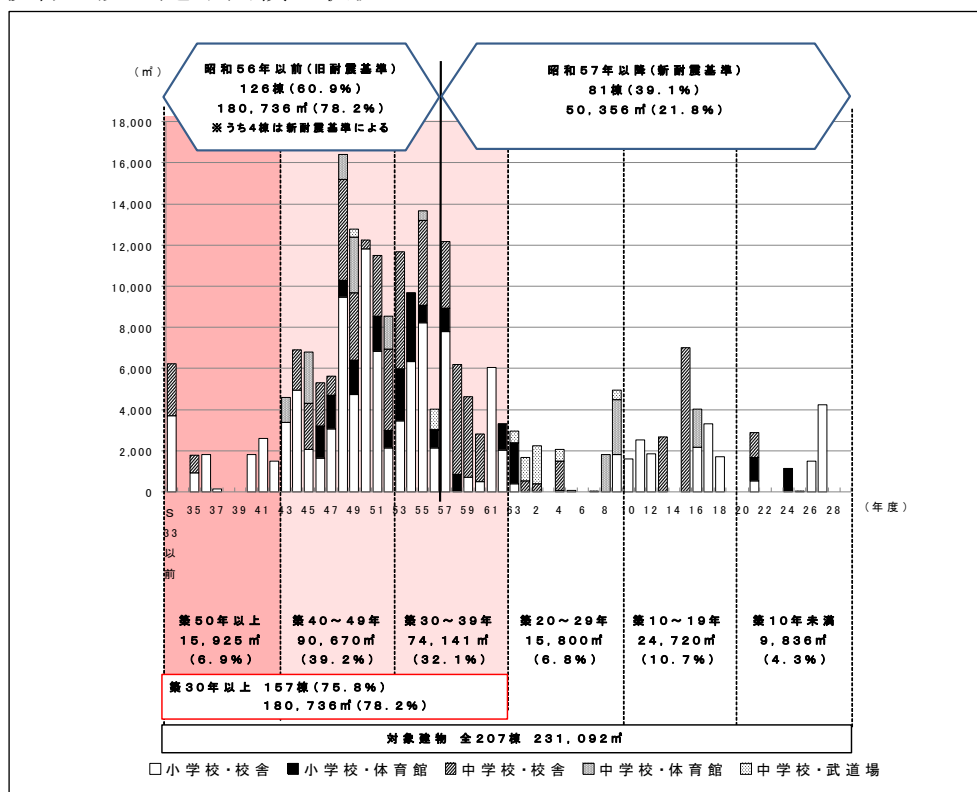
【中学校】

生徒数の推移や構造体耐久性調査等を踏まえながら、校舎の長寿命化対策に取り組むとともに、校舎を更新する際には、適正な規模とし、全体として保有面積の縮減を図るものとする。

- 市立小中学校の規模に関する課題解決にあたっては、この全体計画における方針や方向性を踏まえ、具体的な取組などを明らかにしていく必要があります。

< 学校教育施設の延床面積の状況 >

2017（平成29）年度末現在



5 想定しうる課題解決の取組

小中学校の小規模化に関する課題解決に向けて検討を行う際には、現状や見通しを把握することに加え、具体的な取組を想定しながら議論することが重要です。

学校規模に関する課題解決の取組としては、次のようないくつかの選択肢を想定することができます。

(1) 学校の統合

- 児童生徒数が減少している学校を隣接する学校と統合し、学校規模を維持するための取組です。学校の統合に関する具体的な検討については、行政が一方的に進める性格のものではなく、地域住民の十分な理解と協力を得るなど、丁寧な議論を行うことが望まれます。

(2) 通学区域の見直し

- 通学区域の一部について、隣接する学校の通学区域に編入させる取組です。通学区域の見直しを行う場合、学校の統合を行う場合と同様に、地域住民の十分な理解や協力を得ながら進めていくことが重要となります。

(3) 学校選択制の導入

- 市町村教育委員会は、当該市町村内に小学校又は中学校が2校以上ある場合、就学予定者が就学すべき小学校又は中学校を指定することとされています。
- また、市町村教育委員会が就学校を指定する場合、就学すべき学校について、あらかじめ保護者の意見を聴取できるものとされています。この保護者の意見を踏まえて、市町村教育委員会が就学校を指定する場合を学校選択制といいます。タイプ別に分類すると、次のとおりとなります。

①自由選択制	当該市町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学を認めるもの
②ブロック選択制	当該市町村内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの
③隣接区域選択制	従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの
④特認校制	従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの
⑤特定地域選択制	従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、学校選択を認めるもの

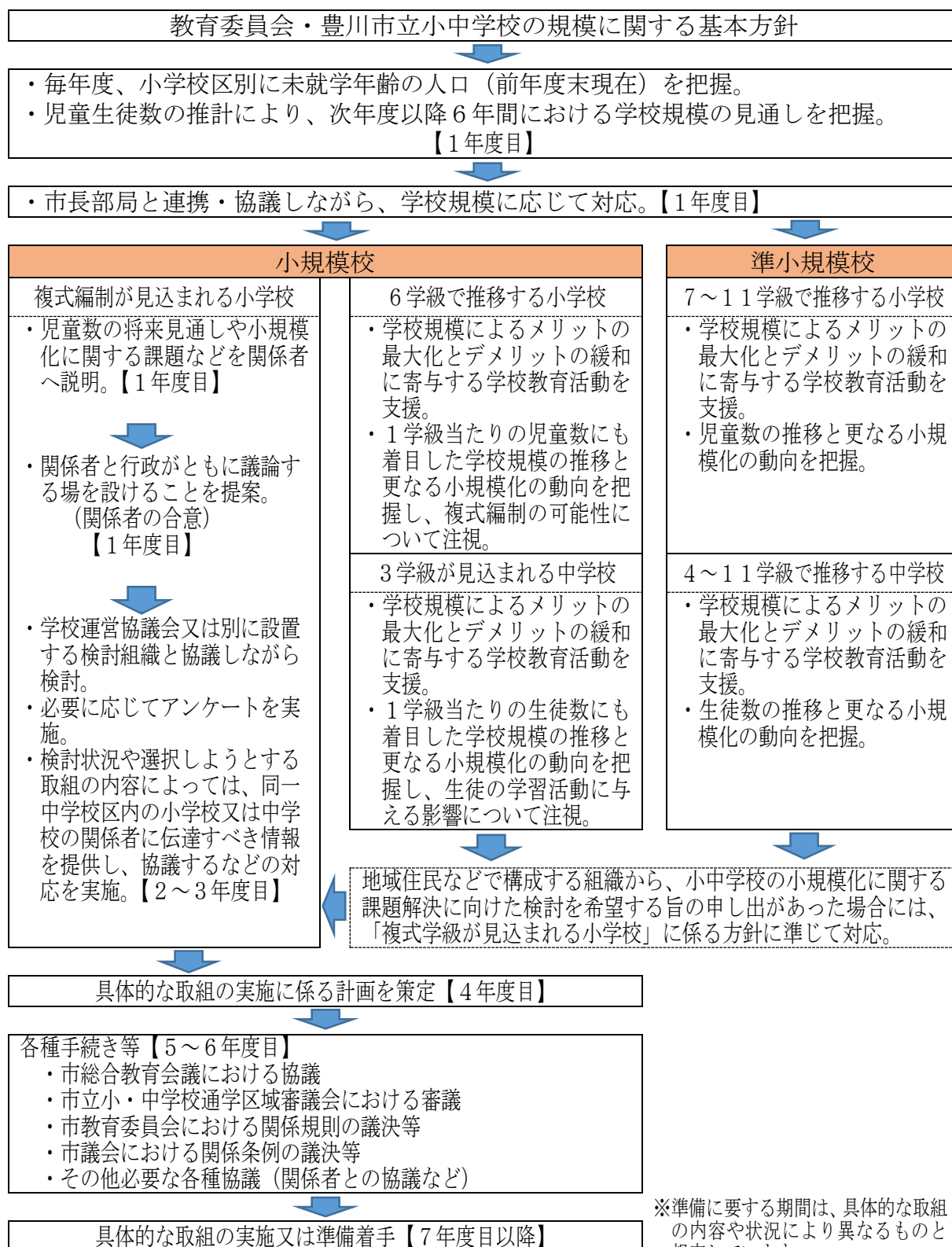
(4) 関連する取組としての小中一貫教育

- 近年では、子どもの発達の早期化やいわゆる中1ギャップ、学習内容の高度化等への対応、学校の社会性育成機能の強化といった観点から、小中一貫教育を導入する市町村が増えています。
- 制度としては、一人の校長の下で一つの教職員集団が一貫した教育課程を編成・実施する9年制学校として教育を行う形態の「義務教育学校」と、組織上独立した小学校と中学校が義務教育学校に準じる形で一貫した教育を行う形態の「小中一貫型小・中学校」の2種類があります。

6 課題解決に向けた対応方針

市立小中学校の規模に関する課題解決に向けた検討などを円滑に進めていくため、教育委員会としての対応方針や手順を明らかにします。

<課題解決に向けた対応の手順>



※準備に要する期間は、具体的な取組の内容や状況により異なるものと想定しています。

7 留意すべき事項

小中学校の小規模化に関する課題解決にあたっては、複数の取組が想定される中、次のような事項に留意しながら検討を進めていきます。

(1) 教育上、学校運営上の最適化

- 少人数学級の長所も念頭に置き、学習活動や教育活動、児童生徒の精神面への影響なども考慮しながら、教育上最適な環境を維持・向上させていくことを目標とします。
- 教職員の配置や教育予算の有効活用といった学校運営上の最適化についても、重要な観点として位置づけます。
- 魅力ある学校づくりのため、学校統合のみならず、学校選択制や小中一貫教育なども含め、複数の選択肢を捉えて検討していきます。

(2) 通学距離・時間への配慮

- 学校の小規模化に関する課題解決の取組が、通学区域の変更などを伴う場合には、通学距離について、小学校では概ね4 km以内、中学校では概ね6 km以内となるよう配慮します。
- 通学時間については、概ね1時間以内で通学できるよう配慮し、特に小学校について、通学距離が概ね4 kmを超える地域が発生する場合には、スクールバスの運行も含めて検討するなど、児童にとっての安全確保や負担軽減に配慮します。

(3) 保護者や地域住民との連携

- 保護者や地域住民に対しては、小中学校の小規模化に関する課題や将来見通しなどを積極的に情報提供し、問題意識を共有しながらきめ細かに対応していくことで、小規模校における課題解決に向けた円滑な合意形成を図ります。
- 小中学校は、地域における重要かつ象徴的な存在であるため、地域住民と連携しながら、丁寧に対応していきます。

(4) 将来見通しを踏まえた学校教育施設の改修

- 老朽化が進む学校教育施設については、小中学校の児童生徒数や学級数の将来見通しなどを踏まえ、適正な施設規模を捉えた長寿命化等の改修を計画的に進めていきます。
- 学校教育施設の改修を要する小中学校について、小規模校が隣接する場合には、当該小規模校の課題解決に向けた取組の状況や将来的な規模の見通しと整合させるとともに、児童クラブや児童館などを念頭に置いた複合化も選択肢の一つとして捉えながら、改修計画を検討します。

(5) 行政内の連携

- 小中学校は、児童生徒の教育の場であることに加え、地域におけるコミュニティや防災の拠点であること、また、児童生徒の通学時における交通安全対策が重要であることなどを踏まえ、行政内で各種分野の施策を担当する部局とも連携し、課題解決に取り組んでいきます。

(6) 個別の学校の状況把握

- 個別の小中学校の規模に関する課題解決に向けた検討においては、同じ中学校区の隣接校や市全体の状況を把握しながら進めていきます。